



分かりやすい柔軟さ

校長 門脇 伸也

1日校外学習

冬の水 一枝の影も 欺かず (中村 草田男)

昭和8年(1933年)に中村は、この句を立川市の普済寺で詠みました。鏡のように正確に枝を映す水面を欺(ごま)かすことがなく、木立であるのか、大木であるのか、その枝の一本一本が、枝先の細いところまで全部水面にくっきり映っている光景が想像できます。静かなながらも強さや厳しさを感じます。

さて、学校の中では、ごまかすことのない分かりやすい言葉掛けが必要です。例えば、本校は室温が温かく保たれているため、水分補給は大切です。校内には児童・生徒会による「水飲みキャンペーン」と題したポスターがところどころに貼っており、「しっかり水を飲もう」と水分補給を呼び掛けています。健康推進への意識向上を目指した取り組みの一つでもあります。

また、子どもたちは楽しみながらも様々なことを学んでいます。以下、12月17日(金)11時ごろの校内の様子です。

【3階】訪問学級のオンライン授業が3か所で行われていました。教員の励ましの声も時折聞こえてきます。

【2階】①体育館では、中学部1、2年生が、ALTのダーラ先生と一緒にALTの授業を受けていました。「ハンカチ落とし」ならぬ「サンタさんの帽子落とし」が行われており、賑やかな声と音楽が聞こえています。3年生は運動の時間でした。②小学部1組は「絵本に親しもう」ということで、絵本探しをしていました。まず、ひまわり祭の劇の題材となったものや、人気のある絵本の振り返りをしてから、図書コーナーで自分の読みたい絵本を探します。買い物を楽しむように絵本を選んでいました。

【1階】①小学部2組の教室では、児童一人一人がタブレットを使用して、学校の中で働いている人の仕事紹介をしていました。②小学部3組の教室では、鶴巻小学校6年生とのオンライン交流が行われていました。鶴巻小学校6年生はお揃いのウグイス色の半纏を身にまとい、ハチマキをして、4台の太鼓の演奏を披露しています。本校の子どもたちも、リズムをとって楽しんでいました。

このように、子どもたちにとって分かりやすく、楽しい授業になるよう工夫しています。

これから新しい年を迎えます。冬休みの楽しい思い出を持ち寄り、新学期を賑やかに始められることを心待ちにしております。

最後になりますが、益々寒さが増してまいります。風邪を引かないよう、今まで以上に体調管理をしっかりしていきましょう。また、新型コロナウイルス感染症予防として、換気や手指消毒を継続していきましょう。

小学部 6年

11月19日に、6年生4名で校外学習を行いました。チームラボボーダレスでは、自分で描いた絵が壁面で動き出す「お絵描きクリスマス」に、子どもたちは目を輝かせていました。描いた絵がプリントされたタオルも作りました。グランドニッコー東京台場では、中国料理を食べました。いつもの給食とは違うホテルの料理に夢中になりながら、味わって食べました。校外学習後は、作ったタオルを学校で使ったり、「エビチリ美味しかったね」と思い出したりする様子が見られました。(苗代 築)



中学部 1.2年

今年は、中学部1、2年の移動教室の代替行事として、江戸東京博物館へ校外学習に行ってきました。館内を歩きながら、東京の生活、文化、景観等の変化に驚きつつ、江戸時代から現代までの時代の移り変わりを、写真や映像、そして展示物などを通して学習しました。再現された江戸の町を歩くと、まるでタイムスリップしたような感覚になりました。そして昼食は、博物館に併設されているレストランで、モロッコ料理のクスクスを食べました。みんな初体験の味に最初は戸惑いながらも、口に運ぶと「おいしい!」と笑顔が溢れました。初体験尽くしの、とても充実した校外学習になりました。(渡部 高士)



連合作品展

連合作品展を終えて

支援部 居村 純

今年度の連合作品展は、12月6日から16日まで、新宿区立新宿文化センターで開催されました。本校は、校内作品展で展示した作品を展示しました。たくさんの方に、子どもたちの作品を見てもらえる良い機会となりました。会場には各学校の様々な作品が並び、作品の中に個性や努力が見え、ここまでの成長を感じとることができました。来年度は、どのような作品が並んでいるのか、今から楽しみです。



ICTを活用した授業

身近なICT

ICT担当 北島 征明

タブレット端末やスマートフォンを、一人一台持つのが当たり前になり、子どもたちも日常的に活用しています。

学校では、「YouTube」での動画視聴は勿論のこと、ビデオ会議システムで、隣の部屋の友だちと会話を楽しんだり、そのまま手に持って、「オンライン鬼ごっこ」をしたりしています。授業の中でも、教卓の上の様子を、そのままホワイトボードに映し、その上に板書をすることもあります。子どもたちが問題を解く様子も、カメラで記録したものをホワイトボードに映し出すことで、子どもたちは席から移動することなく、話し合いをすることができます。授業の中にICTが加わることで、授業に広がりが生れます。現在は試行錯誤の中ですが、これからはデジタルネイティブな今の子どもたちが先導して、可能性を広げてくれるように思います。



1月予定

日	曜	学校行事等	下校
		1日～7日 冬季休業日	
10	月	成人の日	
11	火	始業式 安全指導 短縮授業	11:30
12	水	給食開始 避難訓練 新宿区学力定着度調査 小:外国語活動	14:40
13	木		時差
14	金	10:00～11:30 障害者スポーツ体験事業	14:40
15	土	9:30～11:30 スポレク部活動(新宿養護)	
17	月	SOMPO美術館鑑賞(中3) 体重測定(中)	時差
18	火		15:35
19	水	小:外国語活動 体重測定(小)	14:40
20	木	小児診	時差
21	金	セーフティ教室	14:40
22	土	9:30～11:30 スポレク部活動(永福学園)	
24	月		時差
25	火	整形診	15:35
26	水	小:外国語活動	14:40
27	木		時差
28	金	新宿CSRネットワーク交流会(中) 小学部集会 中:外国語活動	14:40
29	土	9:30～11:30 スポレク部活動(未定)	
31	月	摂食相談④	時差

研究部より

学びを生かす子供たち

つくし・ばらグループ 苗代 築

つくし・ばらグループでは、様々な授業で算数の要素を取り入れた授業実践に取り組んでいます。朝の会では、「昨日は19日でした。今日は何日でしょう」「全員で10名ですが、2名お休みですね、今日は何人出席していますか」などと問い掛けると、算数の学習につながります。体育ではゲームの合計点を計算したり、ボールの転がった距離を比べたりすることが、算数の授業で学んだ事を生かす機会になっています。最近、子どもたちからは「靴に入っているマスクはあと4枚ですか」数字を見て「これ3だ」、腕時計を見て「50分にトイレ行きます」などと、自ら数や時間を意識した発言が見られます。授業中のみならず、日常生活で学びを生かし成長していく子どもたちの姿に喜びを感じます。